

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
北海道芸術デザイン専門学校	昭和51年4月1日	根上 和也	〒001-0024 (住所) 札幌市北区北24条西8丁目1-12 (電話) 011-756-0777																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人美専学園	昭和62年12月4日	増田 涼平	〒001-0024 (住所) 札幌市北区北24条西8丁目1-12 (電話) 011-756-0777																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	専門課程	産業デザイン学科 (イラストレーション専攻)	平成7年1月23日 文部科学省 告示第7号	-																							
学科の目的	産業デザイン学科(イラストレーション専攻)の各分野に関するプロ養成に必要な、「基礎から実践」までを教育することを目的とし、次の事項に重点的に取り組む。 ・各分野のプロになるための技術や知識を学ばせ就職させる。 ・いかに学生・保護者・就職先企業等のニーズに応えるか、各分野における諸課題を主体的・創造的に研修し、実務的な職業教育を施す																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技																				
	2年	2400時間	300時間	2100時間	0時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		単位時間																				
320人	163人	0人	5人	33人	38人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業担当教員が課題の成果・提出状況・出席状況等を総合的に評価する																						
長期休み	■学年始: 4月1日～4月5日 ■夏 季: 7月18日～8月17日 ■冬 季: 12月21日～1月11日 ■前期末: 9月19日～9月27日 ■学年末: 3月5日～3月31日		卒業・進級条件		教育指導計画にしたがって、授業科目を履修し、その成果が満足できると認められるときは、各学年の修了・進級または卒業を認定する。 卒業必要授業数2400単位時間。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 面談及び保護者との連携		課外活動		■課外活動の種類 北海道私立専修学校各種学校連合会札幌支部体育事業の参加、ボランティア、学園祭等の実行委員会等																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) 広告・印刷・出版・web・ゲーム・アニメーション・他		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■サークル活動: 無																						
	■就職指導内容 一年次より就職ガイダンスを開催。二年時には就職課、担任を含めた三者面談を複数回行う。				■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)																						
	■卒業生数: 106 人				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ADEC色彩検定 3級</td> <td>③</td> <td>62人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定・ジョブパス</td> <td>③</td> <td>53人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>Illustrator/クイーター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>Photoshop/クイーター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ADEC色彩検定 3級	③	62人	57人	ビジネス能力検定・ジョブパス	③	53人	39人	Illustrator/クイーター能力認定試験	③	8人	5人	Photoshop/クイーター能力認定試験	③	4人	1人
	資格・検定名	種			受験者数	合格者数																					
ADEC色彩検定 3級	③	62人	57人																								
ビジネス能力検定・ジョブパス	③	53人	39人																								
Illustrator/クイーター能力認定試験	③	8人	5人																								
Photoshop/クイーター能力認定試験	③	4人	1人																								
■就職希望者数: 79 人		<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>																									
■就職者数: 75 人		■就職率: 94.9 %		■自由記述欄																							
■卒業生に占める就職者の割合: 70.7 %		■その他		ターナーアワード2022 U35賞 専門学校優秀賞 学校賞																							
・関連分野へのアルバイト: 9名		・臨時的な仕事: 21名																									
(令和 4 年度卒業生に関する 令和5年5月1日 時点の情報)																											
中途退学の現状	■中途退学者 7 名		■中退率 3.8 %		令和4年4月1日時点において、在学者183名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者171名(令和5年3月31日卒業生を含む)のうち3名夜間部へ転課程 ■中途退学の主な理由 健康及び経済的理由による進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 補習の実施と保護者への連絡・連携、転科の実施等																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) パブリック奨学金制度、スカラシップ奨学金制度、交換留学奨学金制度等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績回数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無)																										
当該学科のホームページURL	https://bisen-g.ac.jp/specialty/illustration/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」を達成するために、指導内容や各種特別活動等を総合的に組織する一連のPDCAサイクルにおいて、教育課程編成委員会でその教育効果を検証し、企業等委員からの意見・助言を取り入れ、開設科目編成や授業内容の改善等を図っていくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

年2回開催される本委員会は、委嘱委員から経営者等としての視点による助言を受け、即戦力となる人材育成のために、学生がインターンシップや職場体験、現場見学等を経験できる機会を創出する等、社会人としての基礎力および実務スキル向上につながる授業内容や指導方法の改善に取り組むための、意見交換および教育効果検証の場として位置付ける。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
佐野 公康	株式会社デービス 代表取締役	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
佐藤 正人	北海道イラストレーターズクラブα 名誉会長	同上	①
堀川 敦史	(株)サイクロンゼロ 開発部マネージャー	同上	③
大内 利章	(株)自然農園 代表取締役社長	同上	③
杉山 宗英	北海道インテリアプランナー協会 会長	同上	①
薄木 健友	(株)花佳 代表取締役	同上	③
赤坂 真一郎	(株)アカサカシンイチロウアトリエ 代表取締役	同上	③
鈴木 理	(株)鈴木理アトリエ級建築士事務所 代表取締役	同上	③
根上 和也	北海道芸術デザイン専門学校 校長(委員長)	同上	—
高橋 美絵	同 教務部長	同上	—
飯塚 哉子	同 学務部長・建築デザイン学科長	同上	—
高畑 文一	同 産業デザイン学科長	同上	—
田中 政史	同 マルチメディアデザイン学科長	同上	—
桂 充子	同 環境デザイン学科長	同上	—
稲葉 未紗	就職課主任	同上	—

※委員の種別の欄には企業等委員の場合、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期) 開催頻度:年2回、開催時期:8月下旬および2月上旬

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月24日 16:00～18:00

第2回 令和5年 2月3日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・第1回教育課程編成委員会で出された意見や助言を踏まえ、改善点があれば、可能なものは後期の授業から、その他については次年度の教育課程編成に際して反映させ、第2回教育課程編成委員会で新年度教育課程案として提案している。
 ・デジタルポートフォリオが増加してきているという観点から、応募に対するアプローチでデジタルポートフォリオで応募できるかが採用を振り分けると助言から、1年後期から段階的にデジタルを含めたポートフォリオの制作を行う授業内容を強化した。
 ・知的財産権について、SNS・ネット画像を参考に作品を発表する機会やコンペなどに応募が多く発表した作品が知的財産権に該当する恐れもある為、昨年、弁理士の方に特別講義を行った。今年度も専攻により、特別講義または全4回で集中講義を行って頂いている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」達成のため、各専攻関連分野の企業および業界団体と連携し、実践的な職業教育の実施に必要なカリキュラムの作成、講義および研修の実施、各種教材の作成等において、緊密な協力体制を構築・維持するものとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・職業教育協定書に基づき、各専攻関連分野の企業および業界団体から、各専門分野の指導講師として人材の派遣を受ける。

・担当教科目の指導計画について事前に協議し、各教科目のねらいに沿って授業内容や実施方法、評価の観点等についてまとめた指導計画書(シラバス)を作成し、教務部へ提出する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
-----	------	-------

専門技術演習Ⅱ (絵本表現演習Ⅱ)	イラストレーション業界における媒体表現の基本的な制作方向やクライアントが求めるイラストレーションやターゲット・コンセプト設定など媒体に合わせたイラストレーションを学びながら、表現方法の意識を深める。感覚的なものを如何にイラストレーションで表現するか、媒体化した時のデザイン性も含めてトータルでものを見られるように表現する。	北海道イラストレーターズクラブ α (クライアント企業:北海道文化放送株式会社)
総合技術演習Ⅲ (webバナーデザイン)	広告デザイン業界での実務の流れに沿い、デザインスキルの向上を図るとともに、目的に合わせたデザインとイラストレーションについて考えさせ、イラストレーションとデザインの関連性、広告制作の流れ等を習得させる。	株式会社ステージハンド
総合技術演習Ⅲ (キャラクターデザイン)	キャラクター制作にあたり、取材・企画立案から進め、クライアントが求めるイラストレーションやターゲット・コンセプト設定など媒体に合わせたイラストレーションを学びながら、表現方法の意識を深める。感覚的なものを如何にイラストレーションで表現するか、媒体化した時のデザイン性も含めてトータルでものを見られるように表現する。	合同会社 工房アルティスタ
クリエイティブワークⅠ	イラストレーション業界における媒体表現の基本的な制作方向やクライアントが求めるイラストレーションやターゲット・コンセプト設定など媒体に合わせたイラストレーションを学びながら、表現方法の意識を深める。感覚的なものを如何にイラストレーションで表現するか、媒体化した時のデザイン性も含めてトータルでものを見られるように表現する。	SHIMAUMA DESIGN
応用技術演習Ⅰ (バナー広告デザイン)	Web広告における業界での実務の流れに沿い、バナー広告デザインスキルの向上を図るとともに、目的に合わせたデザインを習得させる。	Septini Ad Creative 株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

(教員の研修等の基本方針)

本校教職員研修規程に基づき、研修は、教職員が現在就いている職に係わる職務の遂行に必要な知識、技能、資質等の向上を図ることを目的とし、そのため教職員の資質に応じた研修計画を策定し、校外で催される必要な研修を受ける機会を学園として認め、経費を負担することとする。

- ・教職員は、業務に支障のない限り、理事長の承認を受け校外の産業現場等、勤務場所を離れて研修を行うことができるものとする。
- ・各専攻関連分野の業界団体主催による各種技能研修や、ICT機器・アプリケーションソフト関連セミナー等の受講機会を確保し、最新の実務知識・技術・技能の計画的修得および向上に努める。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「New Education Expo2023(企業等:New Education Expo 実行委員会)

期間: 令和5年6月3日(土) 対象: 学校・教育関係者など

内容: 教育の情報化の現状と課題

研修名「ポートフォリオブラッシュアップ」(企業等:株式会社DEVIS)

期間: 令和5年6月22日(木) 対象: 学生・教育関係者など

内容: 現役デザイナーが学生ポートフォリオの添削を行う

② 指導力の修得・向上のための研修等

令和4年12月22日(水) 令和4年度 第2回 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会「学生指導に活かす認知行動療法」札幌 主催:北海道私立専修学校各種学校教員能力認定委員会(対象:教育関係者/内容:ADHD/学生の指導方法について)

クリエイターのための著作権 連携企業等:札幌北商標法律事務所

期間: 令和4年9月 対象: 内部教職員・学生 内容: 知的財産権についての事例やQ&A

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

クリエイターのための著作権 連携企業等:札幌北商標法律事務所

期間: 令和5年4月～9月中旬 対象: 内部教職員・学生 内容: 知的財産権についての事例やQ&A

モリサワ認定校オンラインセミナー 主催:株式会社モリサワ

期間: 令和5年10月(予定) 対象: 内部教職員・学生 内容: モリサワの講師による「文字・組版セミナー」

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 令和5年度 第1回文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会

主催: 北海道私立専修学校各種学校教員能力認定委員会

期間: 令和5年8月1日(火) 対象: (公社)北海道私立専修学校各種学校連合会会員校及びその他の教職員

令和5年12月頃 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会

主催: 北海道私立専修学校各種学校教員能力認定委員会 対象: 教育関係者生/内容: 人材育成

自己評価と学校関係者評価を実施することで、学校の現状と課題を的確かつ具体的に把握して学校運営の改善、強化を

目指すものである。また、同時に関係する企業等との信頼関係を深めることを基本方針としている。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標・人材育成像	理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2)学校運営	目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか 教育活動に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか 退学率の低減が図られているか
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
(6)教育環境	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行なわれているか 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 財務について会計監査が適正に行われているか
(9)法令等の遵守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

令和4年度より学校関係者評価委員会の開催時期を早めたことで、自己点検・評価で明らかになった課題の早期解決・改善に資することができるようにした。歴史と伝統のある道内有数の専門学校として、不易と流行を踏まえながら、時代や業界が求める人材の育成のため教育課程や学生指導について改善に努め、また職業実践専門課程校として、連携する企業との学生に係る情報の共有の充実を図った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
河村和義	(株)アトリエK一級建築士事務所	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業関係者
櫻井俊二	(有)I.B.DESIGN	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	卒業生・企業関係者
山森鉄雄	元、山森鉄雄司法書士事務所	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業有識者
細木 実	(株)asclair	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	卒業生・企業関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.bisen-g.ac.jp> (北海道芸術デザイン専門学校) <https://www.iyaku.ac.jp> (北海道医薬専門学校)

公表時期: 令和5年6月5日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の状況(課題や教育活動の取組)を広く理解してもらい、さらに企業等との信頼関係を深める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	経営方針、学校の特色、新型コロナウイルス感染症対策
(2)各学科等の教育	カリキュラム、収容定員、学修成果、資格取得等の実績、卒業生の進路
(3)教職員	各教員の担当科目、教員の専門に関する情報
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取組状況、実習等の取組情報
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い、活用できる経済的支援措置の内容等
(8)学校の財務	事業報告書、収支計算書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ・派遣状況
(11)その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.bisen-g.ac.jp> (北海道芸術デザイン専門学校)

授業科目等の概要

文化教養分野専門課程 産業デザイン学科 (イラストレーション専攻) 令和5年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		デザイン演習Ⅰ	デザインに必要な平面構成の基礎の理解と技術練習。レイアウトの感覚を養い、デジタル処理を踏まえたデザインの基礎を学ぶ。	1前	60	2	○			○			○	
2	○		DTP演習Ⅰ	DTPの基礎を身につけ、デザイン業界において即戦力となる能力の習得を目指す。パスワークを中心に、Illustratorの基礎を習得する。	1前	60	2	○			○			○	
3	○		デジタルイラストⅠ	ペンタブレットを用いて、CLIP STUDIO PAINTによるデジタルイラスト制作の基礎を学ぶ。人物描き分け・背景パースの課題を通して描画力をつける。	1前	60	2	○			○			○	
4	○		イラストレーション演習	新聞、雑誌、ポスター、パンフレット等の広告媒体で使用するイラストレーションの役割を理解し、クライアントや読み手を意識した表現方法や技術を学ぶ。独りよがりではない、受け手にメッセージがしっかりと届くイラスト表現を身につける。コンペに積極的に取り組む。	1前	60	2	○			○			○	
5	○		イラストテクニックⅠ	果物、料理、機械などを「本物よりもリアルに」描く技術を学ぶ。パステル・アクリル絵具(透明・不透明)を用いて簡単なものから練習し習得する。	1前	60	2	○			○			○	○
6	○		デッサンⅠ	基本的な形態の把握と描き方を学ぶ。静物、人物を鉛筆で描画し、確かなデッサン力を養う。	1前	60	2	○			○			○	
7	○		イラスト基礎	プロのイラストレーターにテクニックを学び、アクリル絵具や透明水彩絵具など基礎的な画材を把握する。画材や素材を研究し、自身の作家性を高める。典型的なイラストの製作法を理解する。	1前	60	2	○			○			○	
8	○		クリエイティブワークⅠ	イラストレーションの表現方法や仕事としてのワークフローを学ぶ。また、デザインとイラストレーションの関係性をグッズを通して仕事としてのイラストレーションを養い、表現の幅を広げる事を主眼とする。	1前	60	2	○			○			○	○
9		○	基礎技術演習Ⅰ	デジタルイラストⅡ、デザイン演習Ⅱ、イラスト研究、ビジュアル演習から1科目を選び、各分野の基礎的な課題制作を通じて表現の基礎を固め、スキルの向上を目指す。	1後	30	1	○			○			○	
10		○	基礎技術演習Ⅱ	人物キャラクター演習、イラストテクニックⅡ(ポップ)、イラストテクニックⅡ(人物)、イラストテクニックⅡ(総合)から1科目を選び、各分野の基礎的な課題制作を通じて表現の基礎を固め、スキルの向上を目指す。	1後	30	1	○			○			○	

35	○		キャリア プランニング Ⅱ	自分が目指す業界に向けたポートフォリオの制作指導。進路指導と平行して実施する。必要となる作品作りにも取り組む。	1 後	30	1	○	○	○	○				
36	○		セルフプロ モーション	自己PRに向けて発展させる。クリエイターに必須のセルフブランディングに取り組む。	1 後	30	1	○	○	○	○				
37	○		キャリア プランニング Ⅲ	履歴書・エントリーシート・ポートフォリオ(作品集)等の就職活動必須ツールの準備、筆記試験対策、面接・プレゼンテーション対策など、デザイン業界の採用試験について傾向と対策を学ぶ。	2 前	30	1	○	○	○	○				
38	○		キャリア プランニング Ⅳ	各業界を知り、研修、訪問などを通して実社会をより深く知る事で仕事を理解し就職活動につなげる。応募企業に評価してもらうためのポートフォリオのレベルアップを図る。	2 後	30	1	○	○	○	○				
39	○		業界研究	業界内の職種・組織の構成・採用側が求める人物像等についてリサーチするとともに、各自が希望する業種・職種について理解を深め、就職活動を進めていく上での目標を具体化していく。インターンシップ(企業研修)の事前指導も実施。	2 後	60	2	○	○	○	○				
合計					39科目	2400単位時間(80単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年の教科目を履修・修得し、卒業制作の審査に合格した者は、第2学年の課程の修了が認められ、卒業が認定される。卒業時必要履修授業時数2,400単位時間。 (留意事項)		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。